

5 ABLER®

加盟店審査業務の高度化・効率化を実現する 「ABLER Digital Services：法人審査サービス」

株式会社 NTT データ（以下、NTT データ）は、金融・製造・小売・官公庁・自治体等さまざまな領域のお客様に向けて、データの高度な活用を支援するブランド「ABLER（エーブラー）」を提供している。本稿では SaaS として提供する「ABLER Digital Services」のうち、現在の主力サービスである「法人審査サービス」について紹介する。

高いアジリティと継続した サービスレベルアップを めざして SaaS 展開を推進

NTT データは、ABLER のサービス展開の形態を SI から SaaS に順次移行している。福原氏はその経緯について次のように語る。「これまでお客様ごとに個別にソリューションをご提供してきましたが、世の中の変化に速やかに対応し、新たな機能の追加等柔軟な改善を実現するためには SI 型での展開では対応スピードに課題が見えていました。検討の結果、個別のご要望にお応えしていくよりも、当社の要素技術を活用した SaaS としてご提供した方がより高いアジリティを実現できるという結論に達し、SaaS 移行に踏



株式会社 NTT データ
第一金融事業本部

金融グローバルサービス事業部 ABLER 推進担当

(左) 課長 福原 亜希子氏 (中) 課長代理 網脇 麻衣子氏 (右) 鴨田 大輝氏

み切りました。SaaS として展開することでメンテナンスも共通化でき、従来よりもリーズナブルに最新の機能がご活用いただけます。」

NTT データは SaaS 版 ABLER を「ABLER Digital Services」と呼称し、多くのお客様に共通したニーズの高い内容をトータルでコン

サルテーションしつつ順次アップデートすることで、継続したサービス提供を実現する（図1）。

「法人審査サービス」の特長と導入効果

ABLER Digital Services の主力サービスである「法人審査サービス」（以下、本サービス）は、カード会社・実店舗・EC サイト等決済サービスを展開するお客様が実施する加盟店審査の支援を行う。

■特長

本サービスの強みは審査判定前後のプロセス、つまり新規加盟店の申込受付*1 から情報収集・判定・決裁までをワンストップで行うことにある。特に情報収集については、企

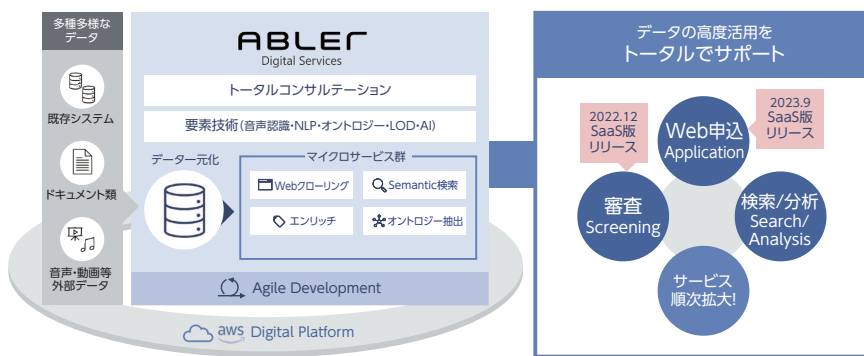


図1 「ABLER Digital Services」概要

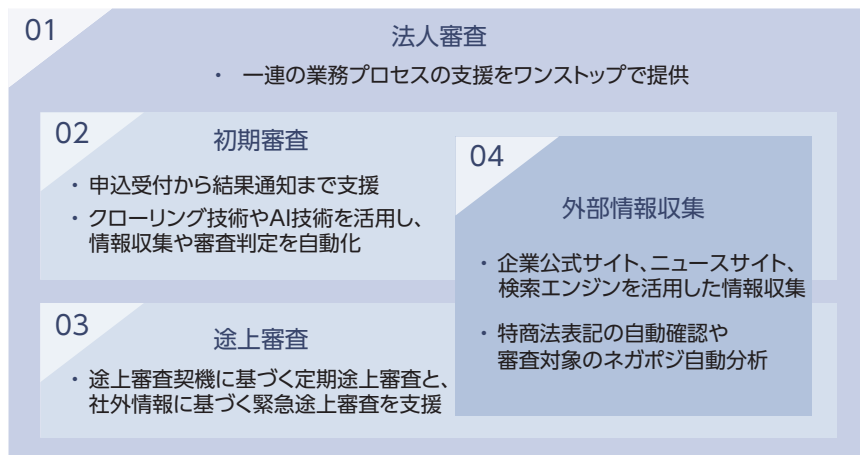


図2「法人審査サービス」サービス区分

業公式サイト、ニュースサイト、検索エンジンを活用した情報収集サービス、公式サイトにおける特商法表記の自動確認に加え、口コミからネガポジ情報を自動分析することで多角的視点から審査を実施する。また、途上審査においても法人状況をダッシュボードに一覧表示し、不正が発生した場合には自動アラートを鳴らして早期に不正を発見する。

尚、本サービスはお客様の要望に応じた区分単位での提供にも柔軟に対応しているほか、お客様自身で運用ルールを変更できる機能（セルフサービス化）も備えている。

■導入効果

NTT データは、本サービスの提供価値として以下の4点を挙げている。

①資産からサービス利用へのシフト、②機能追加の費用軽減基盤保守の軽減・解放、③業務機能の改善スピード、④継続的な新規機能のリリース（数回／年）。また、本サービスを導入されたお客様からは「自動化により審査業務を平準化できた」「審査対象の抽出業務の効率化が図れた」「リスクの高い審査対象の早期発見が可能となった」「初期

審査に係るコストが15～20%削減できた」、**「途上審査においては導入前の処理件数月1,000件に対し導入後は10,000件、10倍の処理数となった」との評価が寄せられている。**

お客様の声を反映し、サービスを成長させる

本サービス提供開始から2年が経過した現在、NTT データは図3のようなレベルアップコンセプトを描いている。

網脇氏は次のように述べる。「SaaSでの提供が主流になっても個別のお客様の声をしっかりと収集しサービスに反映するという姿勢に変わりはありません。本サービスに限らず、

それが当社の強みであると思います。例えば、現在検証を進めている生成AIを活用した機能についても、お客様は単にAIを活用するのではなく、それによりどういった効果が得られるのかについて強い関心をお持ちで、さまざまなお意見をお聞かせくださいます。お客様と共に機能検証を進めた結果、生成AIを活用した文脈判定を行うことで、情報収集の精度向上の効果が出ています。今後も、お客様の声を反映し、ビジネスのご支援をさせていただきたいと思っています。」

また、昨年までシステム開発に関わってきた鴨田氏は次のように述べる。「審査の自動判定ルールを設定する」「ネット上の情報を収集する」といった機能が実現する迄には、内部での繰り返しの検討だけでなくお客様の評価が取り入れられています。今後の拡充にあたっては、お客様に寄り添って「新しく、そしてより良い機能」を拡充しサービスを成長させたいと思います。」

※1：NTTデータのローコードソリューション「Dynamic Document」を有効活用した別サービス「Web申込サービス」導入により、紙・人手運用から脱却し、審査業務のスピードアップやコストコストダウンを図ることが可能。

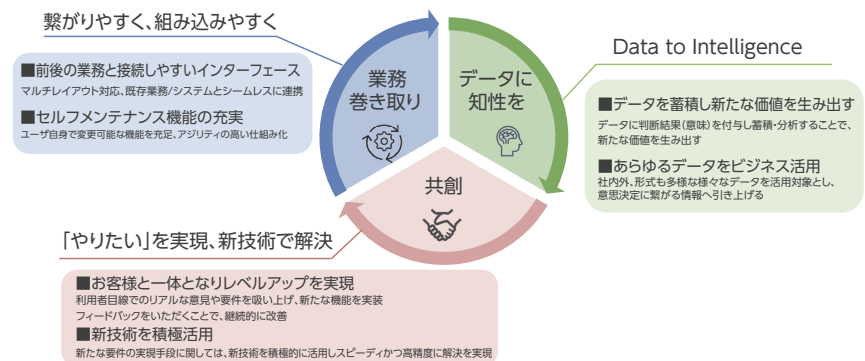


図3 レベルアップのコンセプト